

2023年度
(令和5年度)

学校関係者評価報告書

(自己評価を基本にした学校関係者評価)

2024年2月

学校法人日本ホテル学院
専門学校日本ホテルスクール

2023年度 学校関係者評価報告書

◆ はじめに

2014年（平成26年）4月から、専門学校のうち企業等と密接に連携して、最新の実務の知識・技能を身につけられる実践的な職業教育に取り組む学科を文部科学大臣が認定する「職業実践専門課程」がスタートし、2023年度で10年目を迎えました。

学校関係者評価の実施及び結果の公表は、職業実践専門課程の要件のひとつになっており、本校も2013年度（平成25年度）から、学校の教育活動その他の学校運営の状況について学校自らが評価を行う「自己評価」の実施及び公表、そして、自己評価の結果について評価することを基本として行う「学校関係者評価」の実施及び公表を進め、学校運営の改善、教育の質の向上に取り組んでいるところです。

学校法人日本ホテル学院が運営する専門学校日本ホテルスクールは、学校評価に関する関連法令に基づき、2023年度自己評価を基本にした「学校関係者評価」を実施し、報告書としてまとめました。学校関係者評価は、学校自らが選任した教育関係者、業界関係者、卒業生等の学校関係者が、学校が実施した「自己評価」の結果について評価することを基本として行う評価で、評価結果はホームページ等において公表致します。

本校と致しましては、学校関係者評価の結果を踏まえ、今後も教職員と学校関係者が連携・協力し、学校経営、学校運営の更なる改善と教育の質の向上に努めて参りたいと考えております。

1、学校関係者評価について

（1）定 義

学校関係者評価は、生徒・卒業生、関係業界、関係団体、教育業界、保護者・地域住民などを学校自らが選任し、構成された評価者と学校教職員で構成された委員会等が、自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。

（2）目 的

自己評価結果の客観性、透明性を高めるとともに、本校と密接に関係する学校関係者の理解促進や連携体制による学校運営の更なる改善を図ることを目的とする。

（3）評価の主なポイント

- ①自己評価結果の内容は適切か。
- ②自己評価結果を踏まえた今後の改善方策は適切か。
- ③学校の重点目標や評価項目等は適切か。

（4）評価対象期間

2022年度（2022年4月1日～2023年3月31日）

（5）評価実施年度

2023年度

（6）評価結果の公表

- ①評価結果や委員からの意見等を取りまとめてホームページに公表。
- ②評価結果は次年度の学校運営や教育活動等について具体的に改善を図る。

2、学校関係者評価委員会について

(1) 主な活動内容

- ①自己評価の実施状況と結果についての確認
- ②学校関係者評価委員の評定、意見、評価等、集計結果の確認
- ③評価する点、改善する点、全体的助言
- ④教育環境施設等の視察、確認

(2) 学校関係者評価委員会

学校関係者評価委員 5人

(順不同、敬称略、2024年2月1日現在)

氏名	団体等の名称	役職	任期(3年)
渡辺 淳	全国語学ビジネス観光教育協会	事務局長	2021.11.1～ 2024.10.31
浅山 恵一	一般財団法人日本ホテル教育センター	事業部長	2022.9.1～ 2025.8.31
乙部 彩佳	専門学校日本ホテルスクール 同窓会	副会長	2023.12.1～ 2026.11.30
相澤 克己	専門学校日本ホテルスクール 同窓会	監事	2023.12.1～ 2026.11.30
花澤 彩	専門学校日本ホテルスクール 同窓会	監事	2023.12.1～ 2026.11.30

3、基準、評価項目等

(1) 「自己評価報告書1」に基づく学校関係者評価

自己評価報告書1は、特定非営利活動法人 職業教育評価機構の様式に準拠。

- 基準1 教育理念・目的・育成人材像
- 基準2 学校運営
- 基準3 教育活動
- 基準4 学修成果
- 基準5 学生支援
- 基準6 教育環境
- 基準7 学生の募集と受入れ
- 基準8 財務
- 基準9 法令等の遵守
- 基準10 社会貢献・地域貢献

(2) 「自己評価報告書2」に基づく学校関係者評価

自己評価報告書2は、本校独自の自己評価項目(以下①及び②)を設定し評価を実施。

- ①ホテル専門学校として教育の質保証、特徴化に向けた取組みの評価項目
 - ・教育目標、教育活動、授業運営
 - ・教育課程編成、特色ある教育
 - ・学修成果

②職業実践専門課程（文部科学大臣認定）要件の実施・取組み状況、成果等の評価項目

- ・専攻分野に関する企業等と連携した教育課程の編成
- ・企業等と連携して実習・演習等の実施
- ・総授業時数
- ・企業等と連携し教職員に対し専攻分野に関する研修の実施
- ・企業等と連携し学校関係者評価の実施と公表
- ・学校運営の状況に関する情報の公開・提供

4、自己評価に対する学校関係者評価委員の評価（平均点）

（1）評価点（平均点）

自己評価の評価項目に照らして、学校関係者評価委員が点数化し、その平均値（平均点）を記載した。

4点：適切（実施）

3点：ほぼ適切（概ね実施、ほぼ実施）

2点：やや不適切（少し実施、ある程度実施）

1点：不適切（殆ど実施していない、未実施）

（2）委員の意見、評価等

学校関係者評価委員の意見、評価等を各基準毎（評価項目毎）に記載した。

改善を要する点、取組み方法の工夫や変更等の意見については、内外の状況を見定めて対応する。

6、評価項目に対する評価の平均値、意見等

評価項目に対する評価平均値及び委員の意見、評価等は次ページ以降をご覧ください。

1、「自己評価報告書1」に基づく学校関係者評価

【基準1】教育理念、目的、人材育成像

評価項目	評価の平均値
1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	4.0
1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	4.0
1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4.0
1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	3.3

【意見・評価等】

- ・企業との連携・協力が随所で行われており、自己評価通り適切であると評価する。
- ・特色ある実践教育、業界が必要とする専門知識と技能を有する人材育成に努めている。

【基準2】学校運営

評価項目	評価の平均値
2-2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	4.0
2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	4.0
2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	4.0
2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	4.0
2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	4.0
2-6-1 意思決定システムを整備しているか	4.0
2-7-1 情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか	3.0

【意見・評価等】

- ・学校運営の体制がよく整備されている状況が把握でき適切であると思う。
- ・情報システム化への取り組みは遅いように感じる。手書きのものや複雑なマニュアルのものは排除して簡潔にしていくべきであろう(入試や各種申込方法、期末試験実施方法、職員間学生間とのやり取り等々)。
- ・学習環境の多様化もシステム化し、情報流失防止対策向上に努めて頂きたい。

【基準3】教育活動

評価項目	評価の平均値
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	4.0

3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	4.0
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4.0
3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	3.5
3-9-3 キャリア教育を実施しているか	3.8
3-9-4 授業評価を実施しているか	4.0
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	4.0
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	4.0
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	4.0
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	4.0
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	3.3
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	3.8
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	3.5

【意見・評価等】

- ・自己啓発学習支援制度の制定は、教員の資質向上への取組みとして評価できる
- ・ホテルでの職場経験のある教職員を増やしたほうが良いのではないでしょう。
- ・学校独自の教育活動が適切に評価されている。
- ・教職員の確実な認識と実行力、必要な情報知識の提供の向上を引き続き外部意見の活用で教育活動を続けて頂きたい。

【基準4】学修成果

評価項目	評価の平均値
4-13-1 就職率の向上が図られているか	4.0
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか	3.3
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	3.3

【意見・評価等】

- ・卒業生向けのイベント実施等がホームページで紹介されており、卒業後のサポートもできていると評価する。
- ・資格・免許取得率の向上が図られているかについて、就職が決まると資格取得のプライオリティーが低くなるのはやむを得ないと思うが、学校全体として取得率（認定率）の向上に努めて頂きたい。
- ・資格・免許等の取得には、授業にて目標達成に努力されている。
- ・食品衛生責任者や防火管理者等の資格も卒業後のスキルアップにつながると考えます。
- ・卒業生の動向を把握することは難しいのが現状ではあるが、同窓会を通じてコンタクトを取り合い、で

きるだけ多くの情報を得たい。卒業後のアンケートなども良いのではないかと思います。

【基準5】 学生支援

評価項目	評価の平均値
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	4.0
5-17-1 退学率の低減が図られているか	3.5
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	4.0
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか	4.0
5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	4.0
5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	3.0
5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	4.0
5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか	3.5
5-20-14 保護者との連携体制を構築しているか	4.0
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	4.0
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	3.0
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	3.0

【意見・評価等】

- ・留学生に対する相談体制の整備について前年度より自己評価が高くなったことが評価できる。
- ・就職等の更なる情報発信を進めていくことを期待する。
- ・夜間部もあるので社会人の求める教育環境も整備されていると考える。
- ・卒業生への支援体制については、今後、新校舎の素晴らしい施設、環境で再学習の場（スキルアップ講習や資格取得のための講座等）があると良いのではないかと思います。

【基準6】 教育環境

評価項目	評価の平均値
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・用具等を整備しているか	4.0
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	4.0
6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	3.0
6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	4.0

【意見・評価等】

- ・教育環境の整備については、教職員・学生・委託業者・関係者連携のもと対応されている状況が見受けられ評価できる。
- ・教職員学生を含めた防災訓練（初期消火、避難誘導等々）は年 1 回行ったほうが良い。*日航機事故に伴うスムーズな避難は訓練の賜物である。多くの学生を親御様から預かる立場にある為
- ・学校の施設・設備等では、新校舎の増築による教育環境向上はとても素晴らしいと思います。
- ・教職員における消防訓練の実施が必要と考えます。
- ・災害時の避難経路の再確認は重要である。
- ・新校舎ができたので、教職員、学生全員に周知を徹底することが重要。

【基準 7】 学生の募集と受入

評価項目	評価の平均値
7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	4.0
7-25-2 学生募集活動を適切かつ効果的に行っているか	4.0
7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	4.0
7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	3.3
7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	4.0
7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	4.0

【意見・評価等】

- ・社会環境がさまざまに変化するなか学生募集は難しい状況にあると思われるが、教職員が一丸となって対応している状況が見受けられ評価できる。
- ・保護者への理解を頂けるよう、ホテル業務の実際を見て頂く機会等を設けて頂きたい。
- ・LINE での配信は卒業生が見ていても面白く工夫されていると感じる。

【基準 8】 財 務

評価項目	評価の平均値
8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	4.0
8-28-2 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	4.0
8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	3.5
8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	4.0
8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	4.0
8-31-1 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	4.0

【意見・評価等】

- ・財務情報をホームページに公開し、適切な運営対応をされている状況が把握でき評価できる。
- ・学生数の確保も課題ですが、今後も短期、中長期計画の策定により、財務の安定化を図って頂きたい。

【基準 9】 法令等の遵守

評価項目	評価の平均値
9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4.0
9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	4.0
9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	4.0
9-34-2 自己評価結果を公表しているか	4.0
9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	4.0
9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	4.0
9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	4.0

【意見・評価等】

- ・適切に法令等の遵守がなされており、情報公開も積極的に行われている状況が見受けられ評価できる。
- ・法律に基づき適切に実施されている。

【基準 10】 社会貢献、地域貢献、国際交流

評価項目	評価の平均値
10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.0
10-36-2 国際交流に取り組んでいるか	4.0
10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	3.3

【意見・評価等】

- ・コロナウイルス感染症の影響など厳しい環境のなかさまざまな取組みを行っていることが評価できる。
- ・学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているかについて、他校では地域のお祭りへの誘導係としての参加やごみ拾いへの参加を積極的に奨励している。
- ・今後も社会貢献、地域貢献への参加を期待します。

2、「自己評価報告書2」に基づく学校関係者評価

(1) ホテル専門学校として教育の質保証、特徴化に向けた取組みの評価項目

①教育目標 教育活動 授業運営

No.	評価項目	評価の平均値
1-1	学科・学年に応じた教育目標を明確に設定し、学生等に周知しているか。	4.0
1-2	全科目のシラバス（年間授業計画）を新年度開始前迄に作成・整備し、学生に説明し授業運営を行っているか。ホームページに公開しているか。	4.0
1-3	専任、兼任を問わず、教職員に対し教育目標や方針、授業運営計画について周知・報告する機会を設けているか。	3.3
1-4	基本的知識及び技能を確実に習得し、在学中において段階的に必要な実践力、思考力の育成に取り組んでいるか。	4.0
1-5	建学の精神、教育理念等を踏まえ、一貫性のある三つのポリシーを策定し、広く社会に公表しているか。	4.0

②教育課程編成、特色ある教育

2-1	教育課程の検証、見直しを定期的に行い、バランスの良い調和の取れたカリキュラム編成を行っているか。	4.0
2-2	専攻分野に関連する専門科目の講義及び演習の授業科目数、授業時数、単位数はバランスよく適切であるか。	4.0
2-3	授業での学びを企業等での実習で活かし、在学中において均衡のとれた教育課程の実現や連動した学びを行っているか。	4.0
2-4	接客方法や技術及び円滑な対人関係に必要なとされるコミュニケーション能力の育成がカリキュラムに構成されているか。	4.0

③学修成果

3-1	就職指導体制を整備、確立し、学生の職業観を高め、特に関連業界への就職について向上が図られているか。	4.0
3-2	資格取得に向け指導体制を整備し、計画的指導を行い、目標とする合格率の目標達成に取り組んでいるか。	3.0
3-3	退学率について、原因や分析、低減を図るための組織的な対応、対策をとり、低減対策を図り取り組んでいるか。	3.3
3-4	学生に対し学校生活や授業に関するアンケート調査を実施し、意見や結果を指導や改善に反映しているか。結果はホームページ等で公表しているか。	3.0

●全体意見等

- ・教育の質保証、特徴化に向けた取組みは高く評価できる。評定3の項目についての向上を期待したい。

- ・教育方針、教育目標、人材育成などによる観光業界、ホテル業界での就業に意義や魅力、将来性を持つような技能、技術、知識の提供を引き続きお願いしたい。

(2) 職業実践専門課程（文部科学大臣認定）要件の実施・取組み状況、成果等の評価項目

①専攻分野に関する企業等と連携した教育課程の編成

No.	評価項目	評価の平均値
4-1	企業等との連携体制を確保し、教職員と企業等の委員による委員会を設置しているか。	4.0
4-2	企業等と連携し開催する委員会等は年2回以上開催し委員構成や議題等、適切に運営しているか。	3.5
4-3	委員の意見、提案等を教育課程の編成に反映されているか。また、業界の現状、将来性、求める人材等について意見交換や情報共有は十分か。	3.5

②企業等と連携して実習・演習等の実施

5-1	企業との間で実習・演習の覚書や協定書を締結し、内容に準じ適切に行っているか。	3.8
5-2	学内における実習・演習の授業は知識や技術を向上させ、段階的指導を行っているか。	4.0
5-3	実習中の仕事内容や時間を管理し、成績、評価、単位等の学修成果を企業と連携し行っているか。修得した知識、技能等の能力評価を行っているか。	4.0

③総授業時数

6-1	全課程の修了に必要な総授業時数は1700単位時間以上であるか。	4.0
-----	---------------------------------	-----

④企業等と連携し教職員に対し専攻分野に関する研修の実施

7-1	教職員に対し、ホテルやブライダル分野における実務に関する知識、技術、技能を修得・向上するための研修を計画的に行っているか。	3.0
7-2	教職員に対し、授業及び生徒に対する指導力等を修得・向上するための研修を計画的に行っているか。	3.0

⑤企業等と連携し学校関係者評価の実施と公表

8-1	教職員と企業等の委員により組織された学校関係者評価委員会を設置しているか。企業等の委員の構成、人数は適切であるか。	4.0
8-2	学校関係者評価を踏まえ、課題の改善に取り組み、教育活動その他の学校運営の改善に取り組んでいるか。	3.3
8-3	学校関係者評価の評価結果をホームページ等において広く社会に公表しているか。	4.0

⑥学校運営の状況に関する情報の公開・提供

9-1	情報公開のガイドラインに掲げられた項目について情報を提供しているか。	4.0
9-2	ホームページ、入学案内書、パンフレット等の作成・配布、説明会等における説明等を通じて、恒常的に情報提供を行っているか。	4.0

●全体意見等

- ・今後も企業等との連携・協力を図りさまざまな要件について向上されることを期待したい。
- ・教職員に対し、ホテルやブライダル分野における実務に関する知識、技術、技能を修得・向上するための機会をこれからも多く設けて欲しい。
- ・職業実践専門課程における認定校としての経験を踏まえ、特色ある学校として、更なる取組みを続けて頂きたい。

以上

2023年度(令和5年度) 学校関係者評価報告書
 学校法人日本ホテル学院 専門学校日本ホテルスクール
 〒164-0003 東京都中野区東中野3-15-14
 TEL 03-3360-8231 (代表) FAX 03-3360-8584
<https://www.jhs.ac.jp>